

総合試験（小論文）【Ⅱ期・工学】

（工学系領域）

下記の課題をよく読み、自身の考えを様式（5）総合試験（小論文）に記載し、他の出願書類とともに指定の期日までに提出（郵送）してください。

課題： バイオテクノロジーの未来

遺伝子組み換えなどのバイオテクノロジーの進展によって、世界規模で食糧の生産や消費のあり方が大きく変わっています。この進展するバイオテクノロジーが日常生活にもたらすメリットとデメリットを考え、政治、経済、学術の諸分野においてどのように対処すべきかを多面的に論じて下さい。

（注意事項）

*使用言語は、日本語または英語とします。また、字数は日本語の場合、1,000字程度、英語の場合は500words程度です。手書き、Word等の使用のいずれも可とします。

*出典、引用の明記の仕方は、次頁を参照してください。

*質問がある場合は募集要項の7. 注意事項・その他（8）問い合わせ・連絡先へお問い合わせください。ただし、課題の内容に関する質問には応じられません。

*口述試験・面接の際、回答の内容等について質問することがあります。

様式（5）

氏名		受験番号	※
----	--	------	---

総合試験（小論文）

以下の例示のように、出典(参考文献等)は、論述のどの部分に引用したのかが明確になるようにしてください。

例 1)

．．．．．であると指摘されている（尾崎ら，2002）。

例 2)

広井（2008）によると，．．．．．ことが明らかとなっている。

例 3)

文化庁が設置した「映画振興に関する懇談会」によると，これからの日本映画の振興として，．．．．．が重視されている（文化庁）。

（参考文献）

尾崎正明・小越眞佐司：都市の水循環における雑用水利用の役割，土木学会論文集 No.706，pp.7-18，2002.

広井良典：「コミュニティの中心」とコミュニティ政策，千葉大学公共研究，第5巻，第3号，pp.48-72，2008.

文化庁ホームページ

<<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kondankaito/eiga/eigashinko/index.html>>，2024.7.8.閲覧.